

国語科学習指導案

平成18年11月 日 5校時
6年1組 指導者

目指す言語能力

文章の内容を的確におさえ、自分の考えを明確にしながら読むこと

授業の視点

自分の読みの課題に対するポイントまとめ図を書く活動を取り入れたことは、文章の内容を的確に読み取り、自分の考えを主体的に表現することに有効であったか。

題材名 平和のとりでを築く（筆者の考えを受け止め、自分の考えを書こう）

題材の考察

- (1) 題材観 (略)
- (2) 児童の実態 (略)
[読むことへの関心・意欲・態度]
[読むこと]
[言語事項]
- (3) 題材の系統

児童は、1学期の題材「生き物はつながりの中に」で、事実と意見を区別しながら読み、筆者の訴えたいことを読み取る学習をしてきた。ここでの学習は、3学期の題材「今、君たちに伝えたいこと」で筆者の考えを読み取り、自分の生き方を考えまとめることを目標とする学習へ発展していく。

指導目標

筆者が訴えたいことを読み取り、筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかを明確にしながら読む。

評価規準

筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心を持って読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。(関心・意欲・態度)

筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるか明確にしながら読んでいる。(読むこと)

文章にはいろいろな構成があることを知り、その工夫を見つけ、参考にしている。(言語事項)

指導方針

- ・ 児童が興味、関心を持って、本題材に取り組めるように、事前に学習内容を知らせ、戦争や平和に関するニュース番組を視聴したり、新聞を読んだりさせておく。
- ・ 原爆や核兵器についての補足資料を見たり、読んだりすることで、本題材への意識を高める。ビデオ・写真などの視聴覚教材も工夫していく。
- ・ 児童ひとりひとりが自分の考えをもてるように、教材文を読んだ際の感想や疑問をしっかりと考えさせ、読みの課題や自分の主張を大切にしていけるようにする。
- ・ 読みの課題があげられない児童に対しては、例を提示し、主体的な活動を促していく。

・ 原爆ドームについて ・ 原爆ドームの歴史 ・ 1人の少女 市 国 世界への広がり
・ 原爆ドームの表現の仕方の変化 ・ 世界遺産について ・ 段落構成図(段落のつながり)
・ 作者の伝えたいことのぬき出し ・ 原爆ドームがなぜ、世界遺産になったのか
・ キーワードをつないでいく

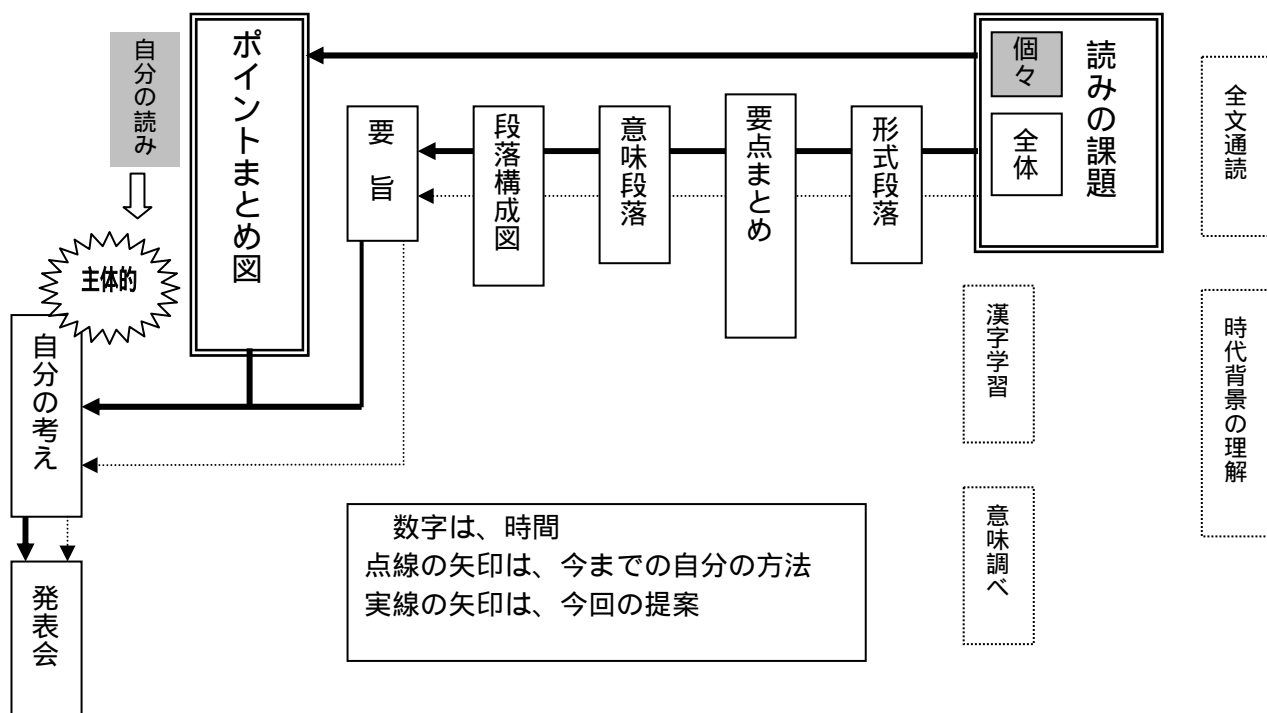
- ・ 全体で読み進める課題を話し合い、クラス全体で読み進める確認をする。
- ・ 題材への取り組みが持続できるように、個々の課題や全体計画図を教室に掲示していく。
- ・ 自分の読み取りが一目でわかるように、ワークシートを工夫していく。(1、2、3を用意)
- ・ 読み取りに時間がかかる児童に対しては、「要点まとめ」や「要約」の活動の際、キーワードを考える活動を行い、それを用いて短文でまとめさせるようにする。
- ・ 意味段落を考える過程で、「戦前の様子が書かれている」「歴史上の出来事が、時代の流れに沿って順に書

かれている」「原爆ドームの表記の変化」「願いが一少女から世界の人々へ広がっている」ことを例にあげて、作者の文章構成の意図を考えさせたい。

- ・ 個々の読みの課題をまとめる活動では、書く観点や構成の仕方を説明した上で、ワークシートに自分の思いの表現をさせ、主体的な活動を促していく。(ポイントまとめ図の作成)
- ・ ポイントまとめ図から自分の読みを見直し、筆者の伝えたいことに対して自分の考えをまとめさせる。

指導計画 (全8時間計画、本時は8/9)

	主な学習活動	時間	評価項目(評価項目)
つかむ	本文を音読する。 時代背景を理解する。 自分の読みの課題を考える。		関 本文について興味をもって、これから取り組もうとしている。 (発言・ワークシート1)
深める	新出漢字の学習をする。 意味調べをする。		言 新出漢字について理解する。(ノート) 言 難語句を探し、辞書を用いて調べることができる。(ノート)
	形式段落を分ける。 段落の要点をまとめる。		言 形式段落を分けることができる。(教科書) 読 キーワードに着目し、要点をまとめることができる。 (発言・ワークシート2)
	意味段落を考える。 文章構成を考える。 要旨をまとめる。		読 段落の関係やキーワードを用いて全文の要旨をまとめることができる。 (発言・ワークシート3)
	ポイントまとめ図を書き、文章の内容を的確に読み取る。 筆者の伝えたいことに対しての自分の考えをまとめる。	本時	読 ポイントまとめ図を書き、文章の内容を的確に読み取ることができる。 (ワークシート1) 関 筆者の訴えについて自分なりの考えを持とうとしている。 (ワークシート3)
まとめ	自分の考えを発表し合い、平和に対する認識を深める。		関 発表会を通して、平和について考えようとしている。 (発言・聞く態度)



本時の学習（本時は 8/9）

1 ねらい

ポイントまとめ図を書くことを通して、自分の考えを主体的に表現することができる。

2 準備・資料

教師側：キーワードや要点が書いてある模造紙、原爆ドームなどの拡大写真、
児童ポイントまとめ図拡大コピー

児童側：教科書、ワークシート 1、2、3

3 本時の展開（一部略）

学習活動	時間	指導上の留意点・支援
ポイントまとめ図を書く。	15	前時までのまとめ図の中で、ポイントを押さえてまとめている児童のものの拡大コピーを紹介して、全体の制作意欲を高める。 机間巡視により、個々の課題についてのまとめ方ができているか確認する。 支援計画に沿って、筆者の伝えたいことを表現させたり、読み取りを深くさせたりしていく。また、いいところを見つけ言葉掛けて、集中力を持続させるようにする。
ポイントまとめ図を書いてわかったことや感想を書く。	10	自分の読みの課題をしっかりと確認させ、まとめたことであらためて感じたことを中心に書かせるようにする。
全文を音読する。	5	全員に少しずつ読ませることで、緊張感を持たせるとともに、教材文全体を見通せるようにする。また、読みについてしっかりしている児童を賞賛し、授業へのやる気を喚起していく。
筆者の伝えたいことに対しての自分の考えをまとめる。	15	要旨を全員で読み確認する。 ポイントまとめ図に書いた自分の感想をふまえ、筆者の伝えたいことに対して自分の考えをまとめさせる。 積極的にまとめている児童や自分の気持ちがいっしょに表現できている児童を抽出し、発表させ、参考にするように助言する。 次時に発表会をすることを知らせる。